

令和6年度
中野島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

豊かな学力を身につけ、進んで問題解決に取り組む児童の育成

【各校の取組状況の把握について】

研修会等で拠点校を中心として各校の取組や状況の把握を行う。

【各校の取組状況の把握について】

教員からの報告や定期的な研修会等で取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|--|---------|----------|-------------|
| ○真面目に努力する児童が多いので、国語科の漢字や言葉、算数科の数量や図形についてはある程度の定着が見られる。 ○朝の活動の時間を復習等の時間と有効に活用できている。 ●学力の個人差が大きく、理解に時間がかかる子、時間の経過と共に忘れてしまう子、語彙力が乏しく文章が読み取れない子がいる。 | ・宿題などを欠かさずに提出できる子。 ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる子。 | ・繰り返して、具体的操作やペア学習、ドリル学習やフラッシュカードの活用などを行う。 ・計画的に課題を出し、文章力をつける指導を充実させる。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|--|--|---------|----------|-------------|
| ○自分の考えを表現することは、それぞれ、意欲的に行っている。 ○方法や手順の分かる学習には、真面目に取り組んでいる。声の大きさや内容など、相手を意識した話し方ができている。 ●相手の話を受けて話す力が弱い。 ●「話す」「書く」の表現力が苦手で、根拠や理由を明らかにしながら、筋道を立てて説明する力が不十分である。 | ・友達の意見を受けて自分の考えを深めたり、根拠や理由を明らかにしながら、筋道を立てて話したり、文章にしたりできる子。 | ・ペア、班など、小さいグループから始め、表現する経験を何回も体験させる。上手く表現できた子を褒め、自信をもたせる。 ・話し方や書き方を例示し、抵抗感を軽減させる。行事後にスピーチや作文を書くなど、表現する機会を増やす。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|---|---------|----------|-------------|
| ○意欲的で頑張りたい気持ちがあふれている子が多い。 ○家庭学習や朝の読書が習慣化されており、与えられた課題について真面目に取り組める。 ●集中力、持続力に欠け、姿勢の保持も難しい子がいる。 ●自分から課題を見つけ、宿題以外の学習に取り組む子が少ない。ゲーム機やスマホの利用時間が長く、生活リズムの改善が必要な子が見られる。 | ・学習に取り組む態度を身につけ、課題のその先を意識して進んで学習できる子。 ・学習準備がきちんとでき、進んで読書や自主学習に励み、自ら学ぶ楽しさを実感できる子。 | ・次時の準備や正しい姿勢を習慣化させる。 ・忘れ物を減らし、連絡帳に記入し、それを確認する等、学習に必要なものの準備をきちんと整える習慣を身につけさせる。 ・『自主学習おすすめメニュー』を作成し、定期的に自主学習ノートの評価することで、学習意欲が持続するようにする。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

